



2013年(平成25年)12月期 第2四半期決算説明会資料

2013年8月12日

KNT-CTホールディングス株式会社

目 次

経営統合の概要	P2
経営統合によるシナジー効果	P3
事業構造図	P4
KNT-CTホールディングス連結範囲	P5
2013年12月期〔第2四半期〕概況①～③	P6
2013年12月期〔第2四半期〕業績	P9
2013年12月期〔第2四半期〕セグメント別売上高	P10
2013年12月期〔第2四半期〕貸借対照表	P11
2013年12月期〔第2四半期〕キャッシュフローの状況	P12
2013年12月期〔通期業績予想〕	P13
中期経営計画(2013～15年)重点施策	P14
中期経営計画(2013～15年)数値目標	P15
中期経営計画(2013～15年)数値推移グラフ	P16

経営統合の概要

KNT-CTホールディングス株式会社

吸収分割
(団体旅行事業)

近畿日本ツーリスト
株式会社

吸収分割
(個人旅行事業)

近畿日本ツーリスト
個人旅行株式会社

株式交換
(メディア型旅行事業)

クラブツーリズム
株式会社

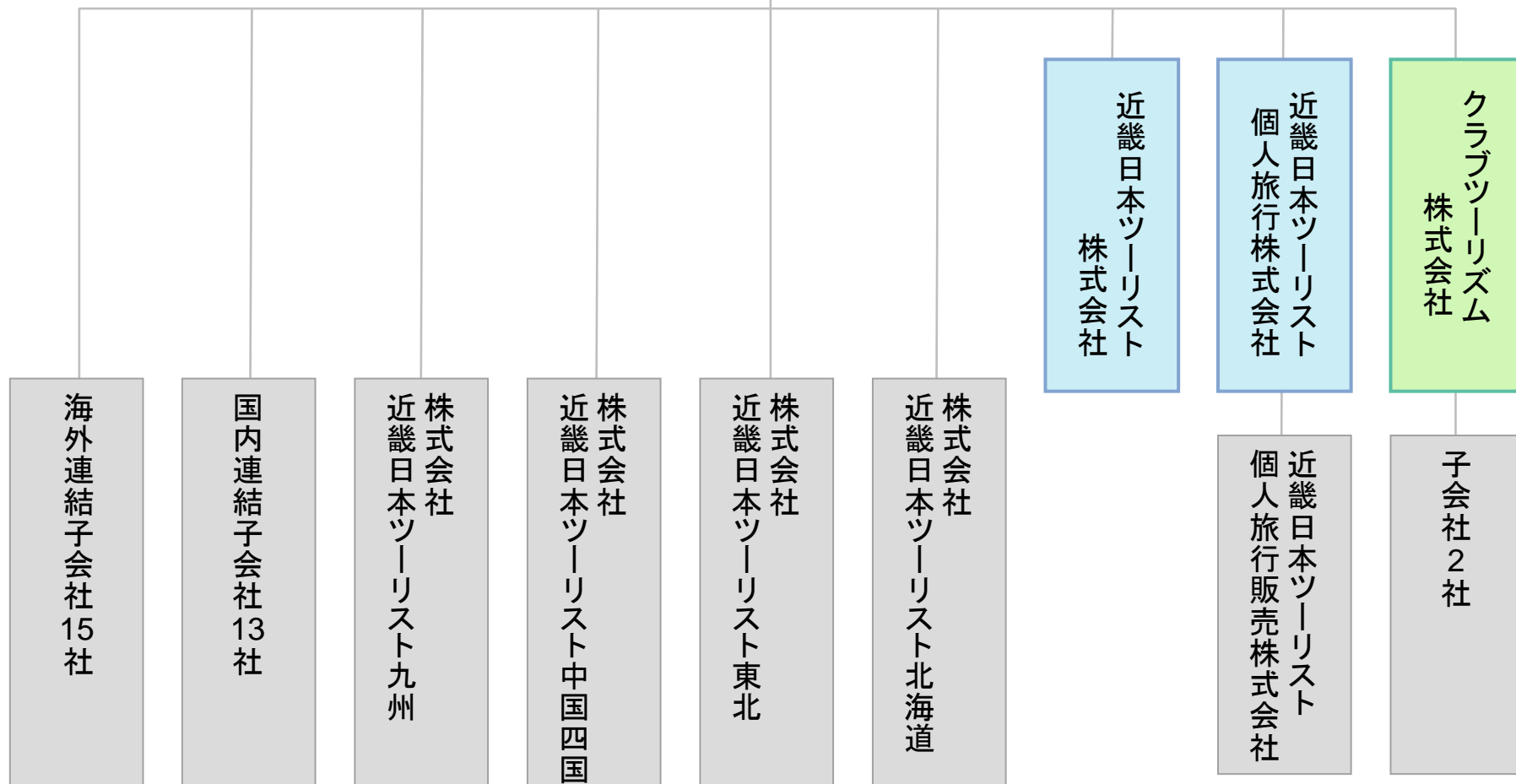
経営統合によるシナジー効果

2013年1月1日 持株会社体制 “KNT－CTホールディングス株式会社”に移行

当社は2013年1月1日、持株会社体制に移行し、
2013年2月に策定した2015年12月期までの
「中期経営計画」にもとづき、グループ各社の
「自立経営」と「連携強化」を促進するとともに
“近畿日本ツーリスト” **“クラブツーリズム”**
の長所を活かした「シナジー効果」の最大化を推進

事業構造図

KNT-CTホールディングス株式会社



KNT-CTホールディングス連結範囲

【連結子会社 38社】

国内旅行会社(15社)	近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリスト個人旅行、クラブツーリズム、近畿日本ツーリスト個人旅行販売、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト神奈川、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリスト沖縄、ユナイテッドツアーズ、ティー・ゲート、KNT ASIA、昭和トラベラーズクラブ、三喜トラベルサービス	
海外旅行会社(13社)	KIE(USA)、KIE(CND)、KIE(EUR)、KIE(OCE)、PDI、KNT KOREA 他	
その他 関連事業会社(10社)	労働者派遣業務	ツーリストエキスパート
	商事・保険	近畿日本ツーリスト商事
	業務受託他	ツーリストサービス北海道、KNTビジネスクリエイト クラブツーリズム・マーケティング
	アシスタント業務	ツーリストインターナショナルアシスタンスサービス
	イベント&コンベンション企画	イベントアンドコンベンションハウス
	介護事業	クラブツーリズム・ライフケアサービス
	再保険引受事業会社(2社)	H&M INSURANCE HAWAII、GRIFFIN INSURANCE

【持分法適用関連会社 6社】

国内	NTTデータ・テラノス、箱根高原ホテル、奥日光高原ホテル
海外	KNT TRAVEL (THAILAND)、KNT台湾、他1社



2013年12月期〔第2四半期〕概況①

KNT-CTホールディングス株式会社〔主要会社の概況〕

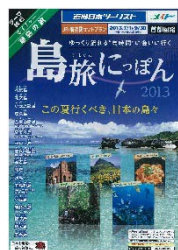
■個人旅行事業

近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社のWeb専用宿泊商品やクラブツーリズム株式会社のバスツアー商品をはじめとする両社の商品の相互販売や、チャーター便の共同販売など、相乗作用の強化を図った

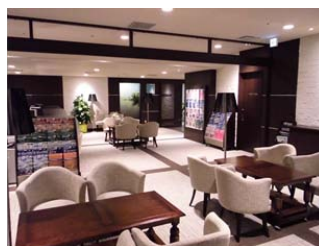
<近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社> <近畿日本ツーリスト個人旅行販売株式会社>

テーマ型旅行の付加価値商品の強化など、商品改革の推進

- 秘境や世界遺産を巡る旅、地球探訪などの企画商品を造成、新コースに「南アフリカ」を設定
- 3月30日 「SIT旅行企画センター」(東京有楽町)を開設
同社子会社の近畿日本ツーリスト個人旅行販売株式会社も旗艦店「有楽町テーマ旅行サロン」を開設
様々なテーマ型商品を製販一体となり企画および販売を展開
- 4月26日 近畿日本ツーリスト個人旅行販売株式会社は関西地区の旗艦店として
梅田に「グランフロント大阪営業所」を開設



「テーマ旅行」のパンフレット



「有楽町テーマ旅行サロン」

2013年12月期〔第2四半期〕概況②

KNT-CTホールディングス株式会社〔主要会社の概況〕

<クラブツーリズム株式会社>

メディア型旅行事業における会員組織募集の強みを活かしたお客様視点での顧客戦略を展開

- アジア最大級客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の特別チャータークルーズを実施
 - ・徹底した他社との差別化を図る企画商品の造成
- 関西エリアで4箇所目の拠点となる「京都旅行センター」を開設
 - ・京都、滋賀を中心とするエリアにおける販売の強化



「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」
チャーターの様子



2013年12月期〔第2四半期〕概況③

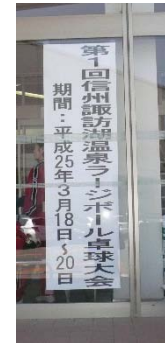
KNT-CTホールディングス株式会社〔主要会社の概況〕

■ 団体旅行事業

〈近畿日本ツーリスト株式会社〉

大都市における法人・団体等への提案型営業の拡大

- 成長分野である「MICE」市場への積極的な営業活動を展開
 - ・企業系コンベンション、インセンティブ関連旅行の取扱い
- 大型スポーツイベント関連需要への積極的な営業展開
 - ・「東京マラソン2013」取扱い
 - ・「2020年東京オリンピック・パラリンピック招致オフィシャルパートナー」として招致活動支援
 - ・スポーツを切り口とした地域誘客、コンサルティング業務の取り組み
- 教育分野における旅行需要の開拓
 - ・修学旅行の取扱い強化
 - ・修学旅行以外のスポーツ、文化イベント関連旅行の需要開拓



信州諏訪湖温泉
ラージボール卓球大会の様子

2013年12月期〔第2四半期〕業績

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	200,500	137,356	63,144	146.0
営業利益	△1,001	△946	△55	—
経常利益	△1,432	△948	△484	—
特別利益	35	135	△100	△74.1
特別損失	181	334	△153	△45.8
四半期純利益	△1,051	△1,392	341	—

〔売上高の総額表示について〕 自社の募集型企画旅行、受注型企画旅行等の旅行商品の販売取引については、従来の売上高から売上原価を控除する方法(純額表示)から、売上高および売上原価ともに計上する方法(総額表示)に変更

- 売上高＝クラブツーリズムを連結範囲に含め、前期より63,144百万円増
- 営業利益＝前期より55百万円減
- 経常利益＝前期より484百万円減
(受取利息等の営業外収益で207百万円、為替差損等の営業外費用で638百万円)
- 特別利益＝前期より100百万円減 (受取補償金等で35百万円)
- 特別損失＝前期より153百万円減 (経営統合関連費用等で181百万円)

2013年12月期〔第2四半期〕セグメント別売上高

単位:百万円

	個人旅行 事業	団体旅行 事業	その他	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
外部顧客への 売上高	118,399	47,107	34,992	200,500	—	200,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	1,071	4,582	5,710	△5,710	—
売上高 計	118,455	48,179	39,575	206,210	△5,710	200,500
セグメント利益 又は損失	△1,166	659	△150	△657	△344	△1,001

2013年12月期〔第2四半期〕貸借対照表

単位：百万円

	当第2四半期末	前年期末	増減額
流動資産	106,386	67,142	39,244
うち現金及び預金、預け金	55,284	28,541	26,743
固定資産	28,256	20,617	7,639
資産合計	134,643	87,760	46,883
流動負債	107,365	77,162	30,203
うち営業未払金・未精算旅行券	49,562	41,540	8,022
固定負債	6,785	4,879	1,906
負債合計	114,151	82,041	32,110
純資産合計	20,491	5,718	14,773
うち利益剰余金	4,216	△7,203	11,419
負債および純資産合計	134,643	87,760	46,883

	当第2四半期	前年期末
自己資本比率	15.2%	6.4%

	当第2四半期	前年期末
一株当り純資産	76.68円	59.45円

2013年12月期〔第2四半期〕キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
営業活動による キャッシュフロー	5,627	△3,432
投資活動による キャッシュフロー	2,349	△739
財務活動による キャッシュフロー	352	△13
現金及び現金同等物 の四半期末残高	52,821	27,509

■ 営業活動によるキャッシュフロー

主に団体前受金の増加による影響で3,502百万円、仕入債務の増加による影響で2,885百万円が、それぞれ増加したため、5,627百万円の増加となった。

■ 財務活動によるキャッシュフロー

新株予約権の行使に伴い352百万円の増加となった。

2013年12月期〔通期業績予想〕

					2013年度 〔通期予想〕
売 (取	上 扱	高	高)	465,000百万円 (575,000百万円)
営	業	利	益		4,400百万円
経	常	利	益		3,900百万円
当	期	純	利	益	1,500百万円
1 当	株 期	当 純	た 利	り 益	5円64銭
自	己	資	本	比 率	17.0%

中期経営計画(2013~15年)重点施策

① 営業シナジー効果の最大化

② 管理部門の効率化によるコストの圧縮

③ 人材の活用と活性化

④ アジアを中心としたグローバル事業の展開

⑤ 経営戦略機能の強化

中期経営計画(2013～15年) 数値目標

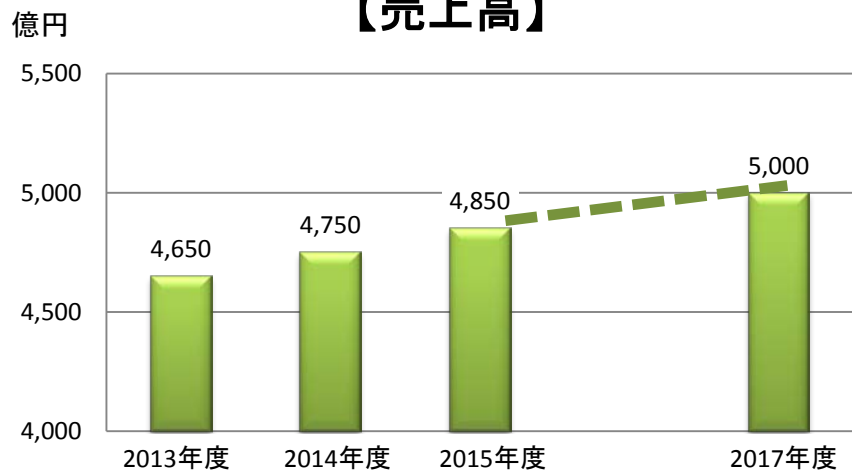
(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2017年度 〔参考〕
売上高 (取扱高)	4,650 (5,750)	4,750 (5,850)	4,850 (6,000)	5,000 (6,200)
営業利益	44	50	58	85
当期純利益	15	24	30	50
自己資本比率	17.0%	18.5%	20.0%	24.0%

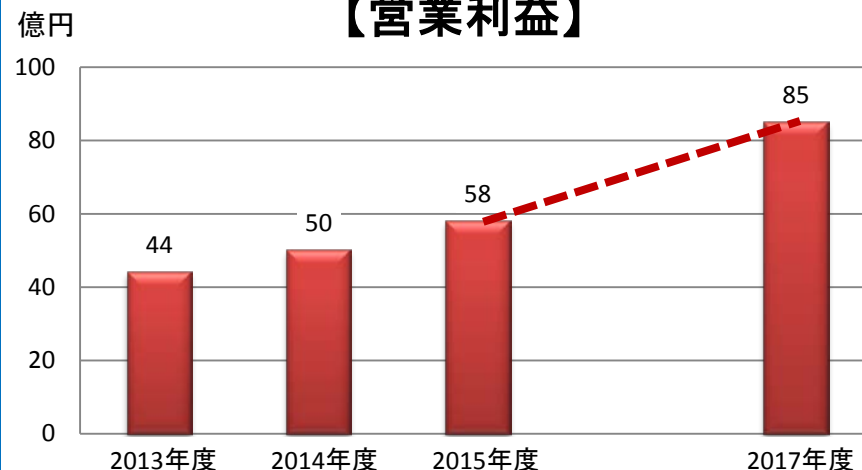
(注)売上高は、会計上の売上高であり、取扱高と異なります。

中期経営計画(2013~15年) 数値推移グラフ

【売上高】



【営業利益】



【当期純利益】



【自己資本比率】

